

CITY OF YOKOHAMA

# みなとみらい21地区における ペットボトルのボトルtoボトル 実証実験の実施について

2023年11月16日  
市長定例記者会見

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

# 脱炭素先行地域選定 みなとみらい21地区の新たな取組

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

令和6年度の本格運用を目指し、  
ペットボトルのボトルtoボトルの実証実験を実施

## 脱炭素先行地域の提案概要

多くの人が集うみなとみらい21地区では、廃棄物が大量に発生

廃ペットボトルの回収及び再利用などの取組を普及させ、  
ペットボトルのリサイクル循環モデル確立を目指す。



## ボトルtoボトルとは

- ◆ 使用済ペットボトルを原料化し、  
新たなペットボトルに再生する循環型リサイクルシステム
- ◆ サークュラーエコノミーと脱炭素化の実現につながる

### 理想的なりサイクルの仕組み

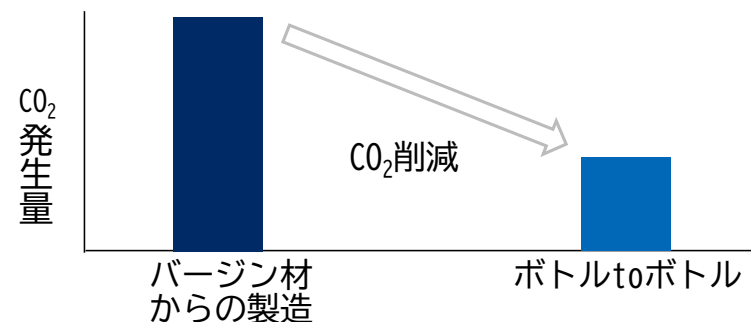
#### サーキュラーエコノミー

ペットボトルを何度でも  
ペットボトルに再生して循環利用



#### 脱炭素化

製造時に発生するCO<sub>2</sub>を約60%削減



## ボトルtoボトルの課題

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

令和3年度  
国内のボトルtoボトル比率 **： 約20%**

### 課題

- ◆ 回収されたペットボトルへの**異物混入**などで**歩留りが悪化**  
(特に事業系で回収されたもの)

- ◆ **回収されたペットボトルの品質向上**

# 新たなペットボトルリサイクル循環モデルの構築に挑戦

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

## 飲料メーカーのニーズ

- ・一般社団法人全国清涼飲料連合会の目標

2030年までに

**ボトルtoボトル比率 50%宣言**

- ・ボトルtoボトルの取組を拡大

## 脱炭素先行地域のニーズ

横浜市／横浜みなとみらい21／参加施設

- ・エリア全体にボトルtoボトルの取組を普及
- ・新たな「ペットボトルリサイクル循環モデル」の構築

サントリーホールディングス株式会社、一般社団法人横浜みなとみらい21  
と連携協定を締結

**ボトルtoボトルの実証実験に挑戦！**

## 実証実験で目指す姿

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

使用済ペットボトルの **質** × **量** の確保で

ペットボトルのサーキュラーエコノミーを実現

ひとりひとりができるアクション

ペットボトルを 飲みきる    ペットボトルを 分ける

脱炭素につながる行動変容でボトルtoボトルの実現へ

# 実証実験のポイントとプレイヤー

- 1 行動変容による回収ペットボトルの品質確保
- 2 巡回一括回収による輸送の効率性の向上
- 3 回収ペットボトルの売却益による収集運搬費用の確保



横浜みなとみらい21

- 参加施設のとりまとめ

## 参加施設

- 就業者や来街者への働きかけ
- ペットボトルの提供

## 収集業者

武松商事(株)

- 巡回一括回収／売却

## リサイクル業者

J & T環境(株)  
協栄産業(株)

- ペレット化／売却

## 飲料メーカー

サントリー  
ホールディングス(株)

- ボトルtoボトルによる再製品化
- 実証実験の実施主体



## 一般社団法人横浜みなとみらい21について

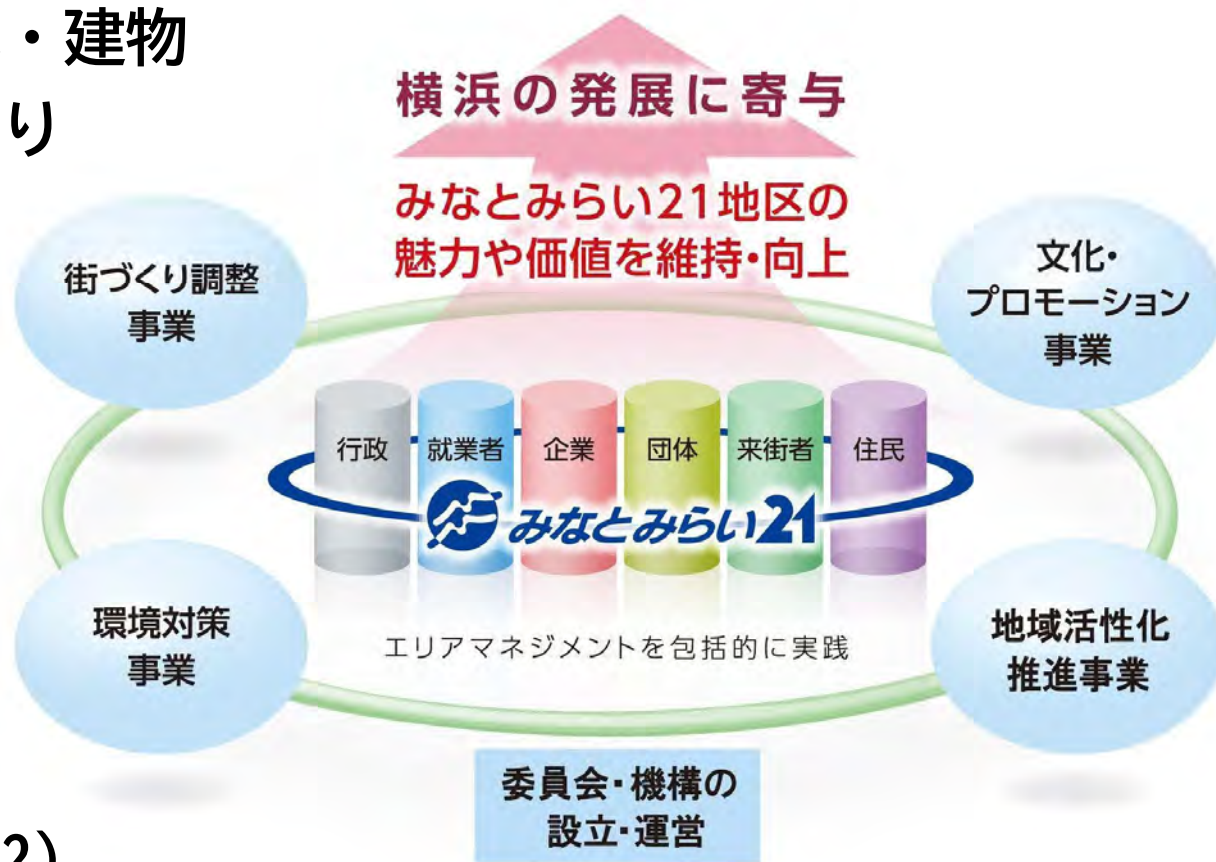
### 組織概要：

みなとみらい21地区内の土地・建物  
所有者、施設管理運営者等により  
構成されたMM21地区の  
エリアマネジメント団体

設立：2009年2月  
(事業開始：2009年4月1日)

代表者：理事長 坂和 伸賢

会員：全143 (2023年10月)  
(正会員88、準会員3、賛助会員52)





### ◇MM21地区は「脱炭素先行地域」に選定（2022年4月）

- ・ 地区特性を活かし「追加性再エネ設備の導入」「省エネ改修」「熱の脱炭素化」「廃棄物の削減・利活用」などを参画施設・企業や横浜市と推進

- ◆ 廃棄物の削減・利活用の取組として、地域から排出されるペットボトルを資源としてリサイクルする方法について検討
- ◆ 地域でペットボトル回収シェア1位の武松商事様に相談



リサイクル会社（J&T環境様、協栄産業様）を通じて、サントリー様の紹介があり、実証実験の提案をいただきました

## 参加予定施設について

### 参加予定施設、事業者一覧（街区順）

横浜赤レンガ倉庫	独立行政法人国際協力機構 横浜センター(JICA横浜)	Audi みなとみらい	横浜ワールドポーターズ
ナビオス横浜	パシフィコ横浜	ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル	横浜ベイコート倶楽部 ホテル &スパリゾート、ザ・カハラ・ホ テル&リゾート 横浜
日本丸メモリアルパーク	クイーンズスクエア横浜	みなとみらい東急スクエア	横浜ベイホテル東急
横浜ランドマークタワー	ヒューリックみなとみらい	ニューオータニイン横浜プレミ アム	県民共済プラザビル
横浜銀行本店	みなとみらい二十一熱供給(株) センタープラント	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	OCEAN GATE MINATO MIRAI
横浜美術館	首都高速道路株式会社 神奈 川局	みなとみらいグランドセントラ ルタワー	MMテラス
The Apartment Bay YOKOHAMA	リビングタウンみなとみらい	横浜メディアタワー	村田製作所みなとみらいイノ ベーションセンター
(株)トヨタレンタリース神奈川 横浜みなとみらい店	横濱ゲートタワー	日産自動車グローバル本社	横浜新都市センター(株)
スカイビル	横浜シティ・エア・ターミナル		

# 2030年、化石由来原料の新規使用ゼロの実現に向けて

SUNTORY

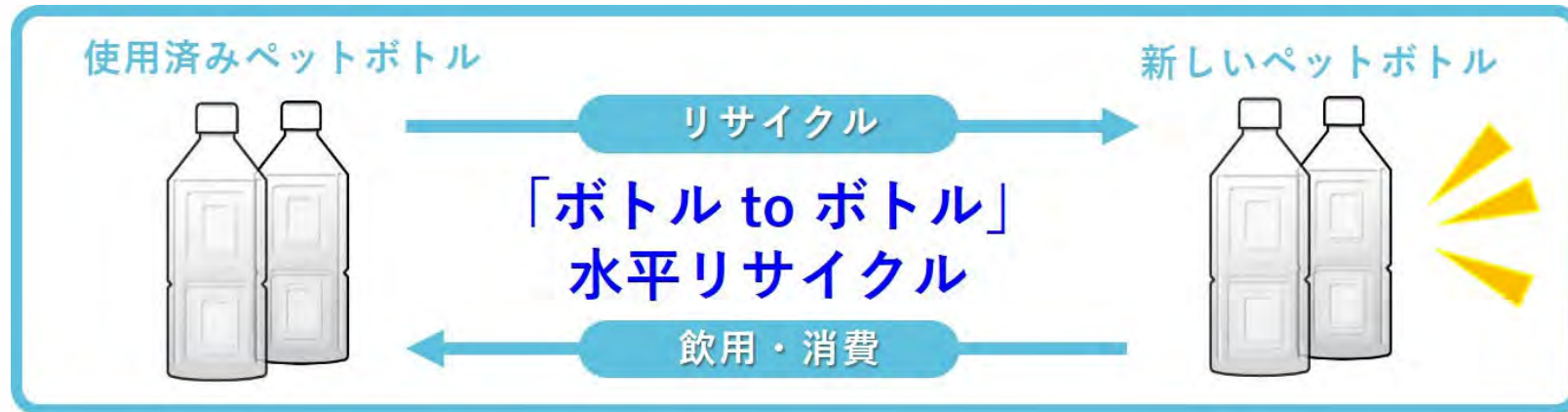
2030年までに  
グローバルで使用するすべてのペットボトルを  
リサイクル素材あるいは植物由来素材100%  
に切り替え、新たな化石由来原料の使用ゼロの  
実現を目指します。

すべてのペットボトルを  
100%サステナブルボトルへ



# 「ボトルtoボトル」水平リサイクルの意義

SUNTORY



## 資源循環 と 脱炭素 に貢献

### 資源循環

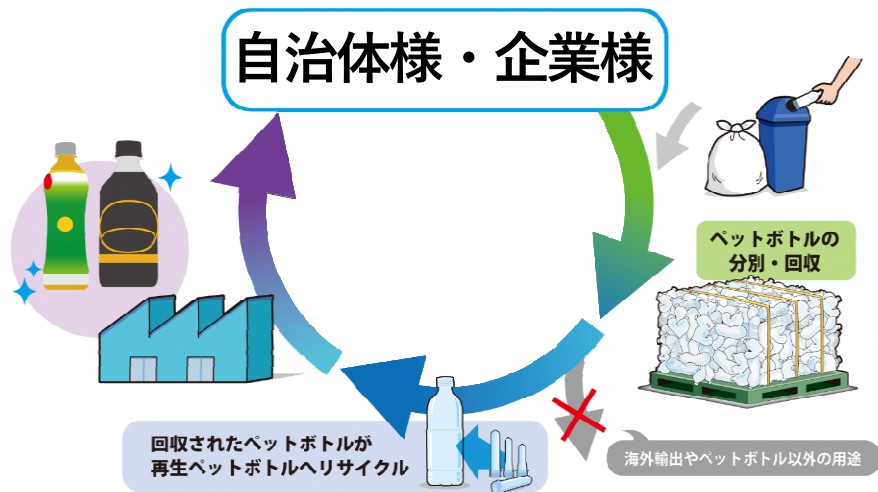
原料＝使用済みペットボトル。  
繰り返しボトルに再生できるため  
新規化石由来原料の使用削減

### 脱炭素

新規原料から製造する場合と比較して  
CO2排出量を約60%削減

# 「ボトルtoボトル」水平リサイクルの取り組み

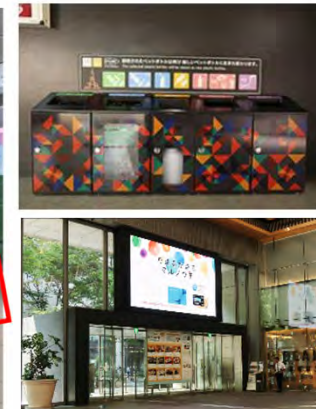
自治体様・企業様とボトルtoボトル協定を締結し  
回収された使用済みペットボトルのリサイクル先を見える化



■流通店頭



■商業施設



■オフィスビル



- ポイント① リサイクル先を「見える化」することで、住民・利用者等の分別意欲向上に寄与
- ポイント② 行政・企業・事業者が三位一体で「循環型社会」の実現に取り組む

流通の店頭や商業施設での分別BOX設置等を通じて、  
広く消費者に対して  
「ボトルtoボトル」水平リサイクルの取り組みを訴求

# 「ボトルtoボトル」水平リサイクルの取り組み

SUNTORY



## 今後のスケジュール

令和5年 11月	参加施設の申込開始
令和6年 1～2月	実証実験開始(1か月間)
令和6年 2～3月	実証実験の結果検証